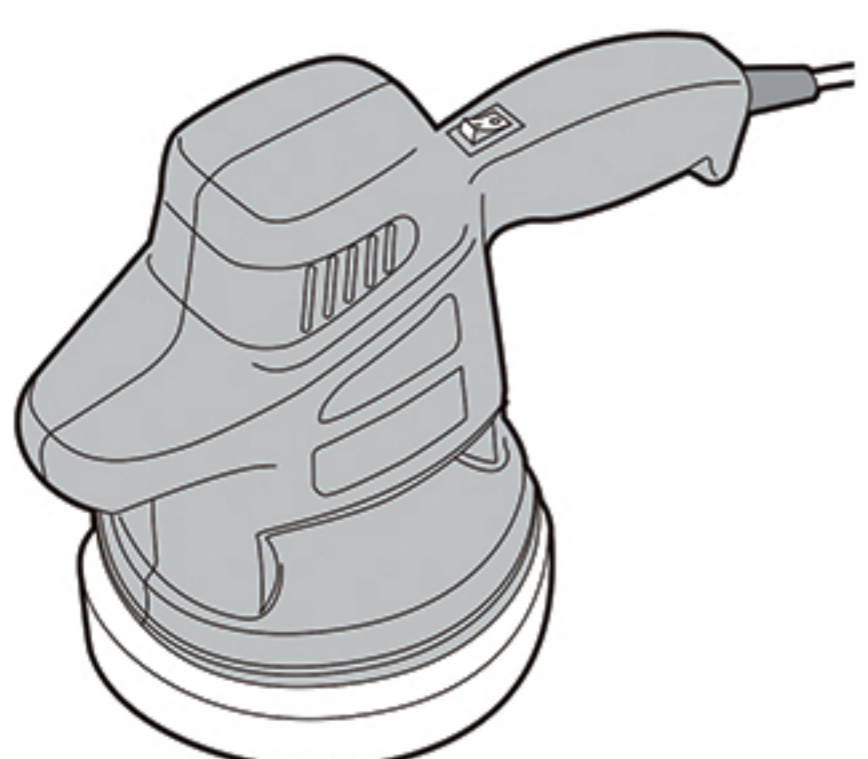


# シャイン ポリッシュ Shine Polish 取扱説明書



記号  
 クラスⅡ絶縁  
 本書をお読みにください

品番：P-59 / P132 / P173

## <ご注意>

安全作業規則及び取扱についてよくお読みにください。  
 本書は、必要な時に参照できるように保管してください。

ProStaff 株式会社プロスタッフ 〒153-0053 東京都目黒区五本木3-18-7  
 TEL (03) 3794-6251 <http://prostaff-jp.com/>

## 一般安全規則

- 4. 電動工具の使用及び手入れ**
  - 4-1. 電動工具を無理に使用しない。用途に合った正しい電動工具を使用する。より適切、かつ、安全な作業ができる。
  - 4-2. スイッチで始動及び停止操作のできない状態では使用しない。スイッチで制御できない電動工具は危険であり、修理又は廃棄する。
  - 4-3. 調整を行う前、付属品を交換する前、又は電動工具を保管する前に、プラグを電源コンセントから抜くか、又は電動工具からバッテリーパックを外す。このような予防的安全手段によって、電動工具を誤って始動させるリスクが軽減される。
  - 4-4. 使用しない電動工具は、子供の手の届かないところに保管し、電動工具又はその取扱に不慣れな者には電動工具を使用させない。電動工具を扱っていない者に渡すなど危険である。
  - 4-5. 電動工具の保守を行う。電動工具の動作に影響をおそれる可動部分の位置ずれ又は固定、部品破損及びその他を点検する。異常がある場合は、使用前に電動工具を修理又は廃棄する。電動工具の保守が不十分であることが、多くの事故の原因となっている。
  - 4-6. 先端工具がある場合は、鋭利、かつ、清潔に保っておく。先端工具を適切に手入れして鋭利にしておけば、作業の円滑さを失うことなく、操作も容易になる。
  - 4-7. 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件及び実施する作業を考慮して、それらの説明書に従って目的の電動工具に合うように使用する。目的の作業と異なる作業に電動工具を使用すると、危険状況になることがある。
  - 4-8. 25℃での使用を前提としている。(貯貯、35℃になることも想定している)

- 5. 整備**  
 電動工具の整備は、資格者が純正交換部品だけを用いて行うものとする。これによって、電動工具の安全性を維持することができる。

- 6. 使用開始のための指示**
  - 加工する物をしっかりと固定してください。
  - 密閉された場所では使用しないでください。
  - 子供を近づけないでください。

- 7. 取扱説明書**
  - 運転中は、本体とパッドホルダーの間に指や物を入れてはいけません。怪我の原因になります。
  - 使用しないときはまたは部品を交換するときは、プラグを電源コンセントから抜いてください。
  - 使用しない場合は、きちんと保管してください。乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。
  - 無理に使用しないでください。電動工具をしっかりと握り締め、下向きの圧力を加しないでください。圧力が大きすぎると電動工具の動きや作業の品質に影響を与えます。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
  - 本体が破損した電動工具を使用しないでください。
  - 定格電力以下でも電動工具が起動することがあり、怪我と原因となる恐れがあります。

## その他の安全上のご注意

- 本品を用途以外に使用しないで下さい。
- 外国車・輸入車・再塗装車・劣化した塗装には使用しないで下さい。
- ポリッシャーをボディに置いた状態で電源を入れて下さい。
- 電源プラグをコンセントに差したまま放置しないで下さい。転倒等の際に電源スイッチがONになり危険です。
- バフ面以外が、使用箇所等に触れないように注意して下さい。
- 使用前に、使用箇所・パッド・バフ等に土砂等のゴミ・異物が付いていないことを確認して下さい。キズの原因となります。
- 本体とパッドは、一体構造ですので分解しないで下さい。
- パッドに凹凸があっても、バフを被せるので使用上問題ありません。
- はじめてバフを使用する際、糸くずが出る場合があります。
- 本体やバフを、地面等に置かないで下さい。そのまま使用するとキズの原因となります。
- バフ・パッドは消耗品です。使用し続けることによって、素材が磨耗、劣化します。また、保管状況によっては早く劣化する場合があります。劣化した場合は使用しないで下さい。
- バフは、洗濯、直射日光などにより、色落ちや色あせ風合いが変わる場合がありますが、製品仕様上問題ありません。
- 火気に近づけないで下さい。変形や燃焼する恐れがあります。
- バフにワックス付け過ぎると、パッドが剥離したり、充分なワックス効果が得られません。
- バフの汚れは洗剤もしくは石鹸で洗い、陰干ししてから、箱に戻して保管して下さい。
- 本体・パッドの汚れは、水で濡らした布を硬く絞って拭いて乾かしてから、箱に戻して保管して下さい。変形・変色の恐れがありますので薬剤(シンナー・ベンジン・アルコール・漂白剤・柔軟剤・カビ除去剤・除・アルカリ性・オレンジ系の洗剤クリーナー)は使用しないで下さい。
- バフを、40度以上の熱湯の中に入れてしないで下さい。
- 必ずパッドから、バフを外した状態で保管して下さい。
- 直射日光が当たる所や高温・多湿な場所を避け、水で濡れないように保管して下さい。故障・劣化・色落ち・色あせの原因になります。
- 車内・トランク内で保管しないで下さい。
- 本品は、各市町村の区分に従って廃棄して下さい。

## 用途

本品は家庭用A.C.100V電源を使用し、自動車塗装面のワックスの塗布・磨き・仕上げ作業等を行うものです。

本書(取扱説明書)に記載した警告・注意・指示・内容に反して使用箇所キズ・破損等が生じた場合や本品が故障した場合、弊社は一切責任を負いかねます。

## 使用方法

- はじめに**  
 カーシャンプー等でよく洗浄し、泥や砂等の汚れを充分洗い流し、タオル等で水滴をよ拭き取り乾燥させて下さい。  
 ※汚れが付いた状態で使用した場合、キズを付ける恐れがあります。

## 使用方法

※本体や電源プラグ・電源コード・コンセント部が水がかからないようにして下さい。

- 1** 電源スイッチが **OFF** になっている事と、コンセントに電源プラグが差し込まれていない事を確認して下さい。
- 2** パッドに「ワックスがけ用バフ」を、正しく装着して下さい。  

正しい装着 OK NG
- 3** 液体ワックスの場合を、バフ面に「十字」で液を付けて下さい。固形・半固形の場合は、ヘラ等でワックスを薄く塗って下さい。  
 ※使用する薬剤の、取扱説明書を読んでもらって下さい。
- 4** 再度、電源スイッチが **OFF** になっている事を確認して下さい。電源プラグをコンセントに差し込んで、電源コードを肩にかけて下さい。  
 ※電源コードがボディ等に触れるとキズの原因となります。また、本体回転部に電源コードが巻き込まれるのを防ぐ為、必ず電源コードを肩にかけて作業して下さい。

## 使用方法

- 6** 作業中断時は、電源スイッチを **OFF** にして下さい。作業終了時は、電源スイッチを **OFF** にして電源プラグを抜いて下さい。  
 ●ポリッシャーで作業できない箇所(ドアノブ・ミラー等)は、バフを手をもって作業して下さい。
- 7** ワックスが乾いたら、タオル等でワックスを拭きとって下さい。  
 別売P164 シャインポリッシュ 拭き上げバフを使用すると、ワックスをラクに拭き上げできます。右記画像
- 8** バフを、「仕上げ用バフ」に交換して(使用方法 **1** ~ **2** 参照)、ツヤ出し作業(使用方法 **3** 参照)をして下さい。
- 9** 使用後は電源スイッチを **OFF** にし、電源プラグを抜いてから保管して下さい。※バフは洗って乾燥させてから保管して下さい。詳しくは、下記「お手入れ」をご覧ください。

## お手入れ・保管方法・廃棄方法

- バフの汚れは洗剤もしくは石鹸で洗い、陰干ししてから、箱に戻して保管して下さい。
- 本体・パッドの汚れは、水で濡らした布を硬く絞って拭いて乾かしてから、箱に戻して保管して下さい。  
 ※変形・変色の恐れがありますので薬剤(シンナー・ベンジン・アルコール・漂白剤・柔軟剤・カビ除去剤・除・アルカリ性・オレンジ系の洗剤クリーナー)は使用しないで下さい。
- ※バフを、40度以上の熱湯の中に入れてしないで下さい。
- ※必ずパッドから、バフを外した状態で保管して下さい。
- ※直射日光が当たる所や高温・多湿な場所を避け、水で濡れないように保管して下さい。(故障・劣化・色落ち・色あせの原因になります)
- ※車内・トランク内で保管しないで下さい。
- 本品は、各市町村の区分に従って廃棄して下さい。

## 一般安全規則

**警告** すべての説明書を読むこと。次に示すすべての指示に従わない場合は、感電、火災及び又は重傷を招くおそれがある。

次に示すすべての警告における“電動工具”という用語は、電源式(コード付き)電動工具又は電池式(コードレス)電動工具を示す。  
 取扱説明書を保管して下さい。

- 1. 作業場**
  - 1-1. 作業場は整理整頓(頓)して、十分な照明を行う。散らかった暗い場所は事故を招く。
  - 1-2. 爆発を誘引することがある可燃性液体、ガス又は粉じんがあるところでは、電動工具は使用しない。電動工具は、粉じん又はヒュームを発生させることがあり火災を発生する。
  - 1-3. 電動工具の使用中は、子供及び第三者を近づけない。注意が散漫になって、操作に集中できなくなることがある。
- 2. 電気的安全性**
  - 2-1. 電動工具用プラグは、コンセントに適したものを使用しなければなりません。コンセントの改造は、如何なる理由があっても行ってはなりません。接地する電動工具は、如何なるアダプタを使用してはなりません。コンセントの改造やアダプタの使用で感電の危険が高まります。
  - 2-2. バイブ、塵房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの接地又は接地されたものと、身体の接触を避ける。身体が接地された場合は、感電のリスクが増大する。
  - 2-3. 電動工具は、雨又は湿気がある状態にさらさない。電動工具に水が入ると、感電のリスクが増大する。
  - 2-4. コードを乱暴に扱わない。電動工具を移動させたり、引っ張ったり、又はプラグを抜くために、コードを利用しない。コードは、熱、油、角のとがったところ又は動くものから離しておく。コードが損傷したり又は絡まったりすると、感電のリスクが増大する。
  - 2-5. 電動工具を戸外で使用するとき、戸外の使用に適した延長コードを使用する。戸外の使用に適したコードを使用すれば、感電のリスクは低減される。
- 3. 人的安全性**
  - 3-1. 電動工具の使用中は、油断をせず、いまま自分が何をしているかに注意し、常識を働かせる。疲れている、アルコール又は医薬品を飲んでいるときは、電動工具を使用しない。電動工具を使用している間の不注意で、深刻な肉体的傷害をもたらすことがある。
  - 3-2. 安全保護具を使用する。常時、保護めがねを装着する。適切な状態で防じんマスク、滑り防止安全靴、ヘルメット又は耳栓などの安全保護具を使用することで、傷害事故が低減される。
  - 3-3. 不慮の始動を避ける。プラグを差し込む前に、スイッチがオフ位置にあることを確認する。指をスイッチにかけて電動工具を運んだり、又はスイッチがオンになった電動工具にプラグを差し込むと事故を招く。
  - 3-4. 電動工具の電源を入れる前に、調整キー又はレンチがある場合は外す。電動工具の回転部分にレンチ又はキーを付けたままにしておくと、人的傷害をもたらすおそれがある。
  - 3-5. 無理な姿勢で作業しない。常に適切な足場とバランスを維持する。これによって、予期しない状況でも電動工具をより適切に操作することができる。
  - 3-6. きちんとした服装で作業する。だぶだぶの衣服や装飾品は身に付けない。髪、腕及び手袋を回転部に近づけない。だぶだぶの服、装飾品又は長髪は、回転部・振動部に巻き込まれることがある。
  - 3-7. 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認する。これらの装置を使用することによって、粉じん関連の危険を低減することができる。

## 一般安全規則

- 8. 保守及び整備**
  - 保守及び整備をする際には、以下の項目を守ってください。  
 電動工具の修理は、感電や怪我の原因になります。  
 但し、本製品においては分解及び修理はできません。
  - 可動部の位置ずれや固定状況、破損部、その他電動工具の動作に影響を与える条件を確認してください。異常があった場合は電動工具を使用する前に直して下さい。電動工具の保守を疎かにすることによって事故につながる事例がよくあります。
  - 本体の汚れは、水で濡らした布を硬く絞って拭き取ってください。電動工具の如何なる部分も液に入れないでください。
  - 電動工具を保守する場合は必ず資格を有する保守担当者で行ってください。資格を有しない者による保守や整備は、怪我の原因となります。
  - 電源コードの交換が必要な場合、危険を防止するために、製造業者又はその指定専門業者によって行うこととなりますが、本製品は本体交換になります。

## その他の安全上のご注意

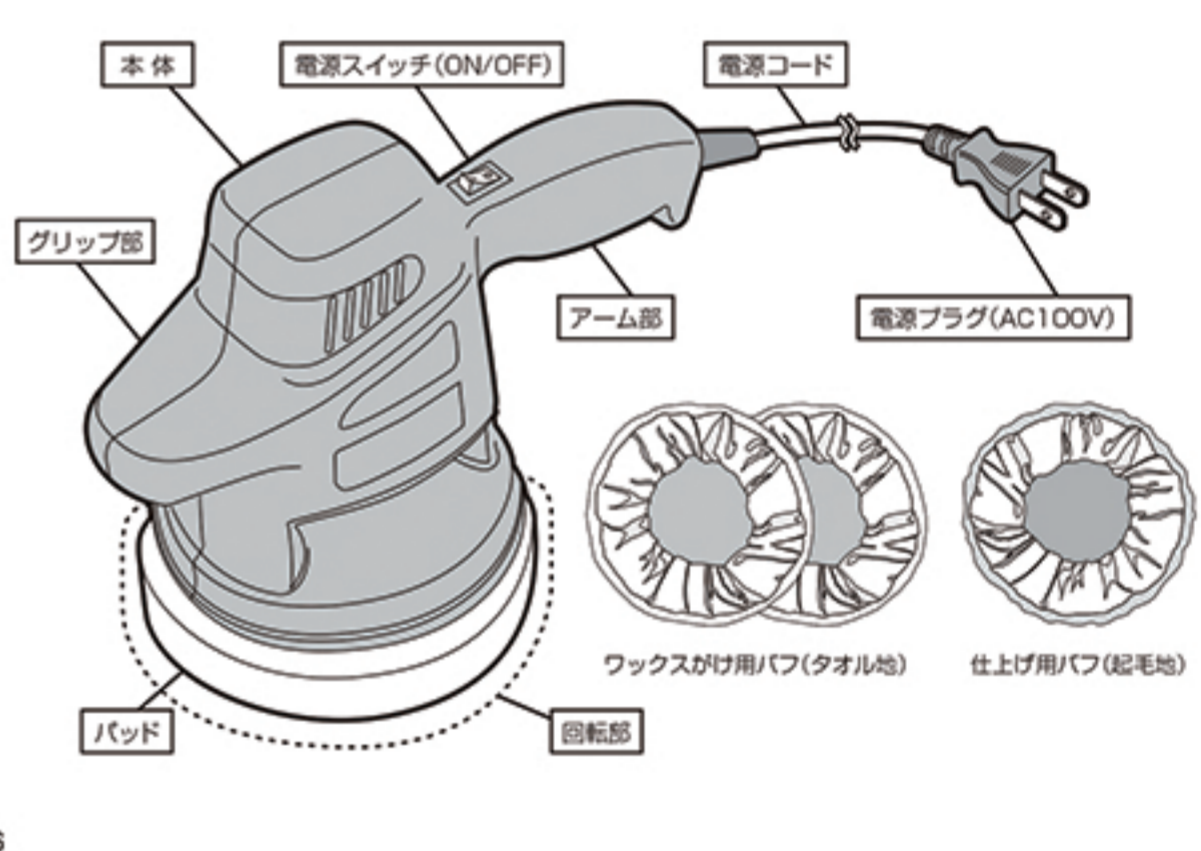
- さらに、本品使用時の注意事項を守ってください。
- 使用中は、回転部・振動部や研削粉などの排出物に手や顔などを近づけないでください。怪我の原因となります。
- パッドにヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。異常があると、怪我の原因となります。
- 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止してください。そのまま使用していると、怪我の原因となります。
- 誤って落としたり、ぶつけたときは、本品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。破損や亀裂、変形があると、怪我の原因となります。
- 雷が降り出したら、速やかに使用を中止して電源コードをコンセントから抜いて下さい。感電や火災の原因となります。
- 風の強い日、ホコリの多い場所、不安定な足場では使用しないで下さい。
- A.C.100V 専用ですので指定電圧以外では使用しないで下さい。
- D.C./A.C. インバーターでの使用は絶対にして下さい。
- 本品は防水仕様ではありません。故障の原因となりますので、本品を水等で濡らしたり濡けたりしないで下さい。万一、水がかかった場合は速やかに使用を中止し、完全に水分が乾くまで使用しないで下さい。
- 濡れた手で、本品に触れないで下さい。感電や故障の原因となります。
- 電源コードは金具等で固定したり、重い物や鋭利な物を置かないで下さい。本品の故障や断線などによる火災や感電の原因となります。
- 使用開始から約5分経過後に一度電源スイッチを切り、本体に異常が無いかを必ず確認して下さい。本体及び電源プラグが発熱する、煙が出る、異音が出るなどの症状が見られる場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店、又は弊社までご連絡下さい。
- コードは定期的に点検してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

## 製品仕様

モデル	P-59 / P132 / P173
定格電圧	A.C.100V
定格周波数	50/60Hz
定格入力	60W
定格運動時間	30min
クラス構造記号	□
定格速度	3150min <sup>-1</sup>
パッド径	152mm
電源コード長	5m (モデル:P132) 7m (モデル:P173) 10m (モデル:P-59)

※仕様及び外観は改良の為、予告なく変更する場合があります。

## 各部の名称



## 使用方法

- 5** ※必ず各パネル(ボンネットドア等)ごとに作業して下さい。  
 ポリッシャーを軽くボディに置き、アーム部とグリップ部に手を添えて下さい。  
 電源スイッチを **ON** にして、ワックスをかけて下さい。  
 ※絶対にボディに置く前に、電源スイッチをONにしないで下さい。衣服や周囲の物にワックスが飛び散る場合があります。

## <作業時の注意>

- 注1** 連続30分以上使用しないで下さい。  
 連続で20分～30分使用したら作業を中断し、30分以上モーターを休めて下さい。本品の故障・火災の原因となります。
  - 注2** ポリッシャーを、移動させながら使用して下さい。  
 一面所に集中して作業すると、バフや研削剤により使用箇所へのキズ(白くもる)へこみの原因となります。特に、濃色車塗装表面、曲面、端部等には充分注意して下さい。
  - 注3** ポリッシャーを、強く押し当てないで下さい。  
 力を入れずに、ポリッシャーを軽く支える程度で使用して下さい。「強く押し当てる」事で下記の原因となります。
    - キズ(白くもる)へこみの原因  
 バフや研削剤の当たりが強くなり、使用箇所へのキズやへこみが生じます。
    - 本品故障・火災の原因  
 モーターへの負荷が過剰にかり熱による故障や火災となります。
    - 作業効率低下の原因  
 回転数が低下することで、作業効率が低下します。
- 力を入れずに作業**  
 ポリッシャーを軽く支える程度でOK  
 ※高速振動しているため、パッドが止まって見える事がありますが、ワックス掛けには支障ありません。

## 純正品紹介

○別売で、シャインポリッシュ純正品をご用意しております。  
**バフ・ワックスは、シャインポリッシュ純正品をご使用下さい。**  
 ※純正品以外の、バフ・ワックス(特に研磨剤入りや、溶剤入り等)は自己責任でご使用下さい。キズ・シミになる恐れや、本品(バフ等)が劣化・破損する場合があります。

**交換バフセット**  
 品名：シャインポリッシュ バフセット  
 品番：P-61  
 セット内容：ワックスがけ用バフ×2枚  
 仕上げ用バフ×1枚

**ワックスを素早くラクに拭き上げできます。**  
**拭き上げバフ**  
 品名：シャインポリッシュ 拭き上げバフ  
 品番：P164  
 セット内容：マイクロファイバーバフ×2枚

**キズ消し・艶出し・汚れ落としに「これ1本」でOK!** **最高級カーナバ配合**  
**液体ワックス**  
 品名：シャインポリッシュ ワックス  
 品番：S133  
 対応色：全色対応  
 内容量：300ml  
 研磨剤入り(粒子径:1.2μ / 0.6μ)